

高校教員はどう見たか?

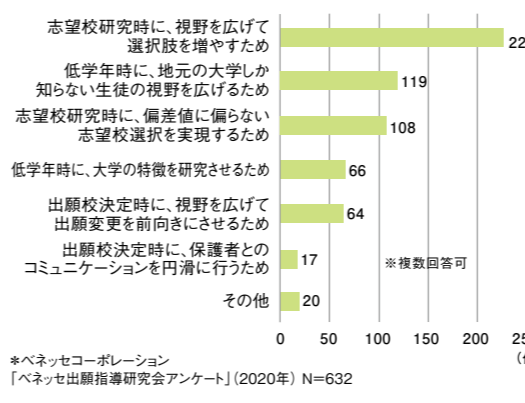
エリア別「教育充実度」ランキング

日本版2021「教育充実度」のスコアをエリア別に集計したランキング表を基にして、各エリアの高校教員が大学に望む教育や連携を語る。



エリア別ランキング表について
THE世界大学ランキング日本版2021の「教育充実度」分野のスコアに基づく
*「=」: 同順位 (英語表記のアルファベット順に掲載)
**データ提供: Times Higher Education (THE)。「THE世界大学ランキング日本版2021」発表後に修正されたデータで掲載しています。

高校教員はTHE世界大学ランキング 日本版をどう使っているか?



北海道・東北

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

順位	教育機関	スコア
1	国際教養大学	92.5
7	北海道大学	82.7
8	東北大学	82.4
20	会津大学	79.6
38	公立はこだて未来大学	74.4
46	小樽商科大学	72.4
60	弘前大学	69.4
60	山形大学	69.3
73	秋田大学	67.5
=81	秋田県立大学	65.5
86	東北学院大学	64.8
90	岩手大学	63.9
104	岩手県立大学	61.7
112	東北公益文科大学	60.5
114	北星学園大学	60.2
121	福島大学	59.0
123	室蘭工業大学	58.3
=143	北見工業大学	55.7
=149	宮城大学	55.2
151-200	釧路公立大学	47.7-55.1
151-200	宮城学院女子大学	47.7-55.1
151-200	帯広畜産大学	47.7-55.1
151-200	札幌学院大学	47.7-55.1
151-200	札幌医科大学	47.7-55.1
151-200	東北工業大学	47.7-55.1

知りたいのはその施策の「狙い」

宮城県気仙沼高校

生徒数: 1学年約230人
合格者数: 国公立大学33人、私立大学183人(2020年度)
研究企画部(SGH主任) 鈴木悠生先生

育成方針がわかれば 合う生徒を勧められる
個人的に教育が充実していると感じるのは、宮城大学、東北工業大学などです。例えば探究学習の

フィールドワークでお世話になっている東北工業大学は、一人ひとりの生徒に対する先生方の指導が手厚く、大学入学後の学生に対する面倒見のよさが推察されます。ランク外ですが、東北芸術工科大学は、探究学習の成果発表の場として*1デザセンを実施しており、生徒が高校での探究活動を引き続き取り組めそうな大学として地元での評価が高いです。私立トップの東北学院大学は、国立大学と同等の評価なのが出色ですね。キャンパスも中心部に移転するので生

徒の人氣が高まりそうです。残念ながらエリア内の大学は、高校向けの情報提供にあまり積極的ではない印象です。中には、今は理系の学部もそうとう総合大学であったり、まだまだ多くの高校教員が昔の「文系の大学」のイメージを持つ大学もあります。新しい動きを高校に伝える際は、新学部や新プログラムといった「内容」だけでなく、社会の変化や将来を見据えてどんな人材の育成を行うのかという「狙い」が重要です。施策の意図がわかれば、それに合う生徒に進学を勧めやすくなります。郊外にある本校にとっては、オンラインで大学のイベントに参加しやすくなり、生徒の大学選びの幅が広がりました。大学の公式SNSをフォローして情報を入手する生徒も増えていきます。一方で対面イベントの中止による大学との接触機会の減少を補おうと、探究学習等の発表会に大学を招いてもいます。学びを通じたよい連携がきつとあると感じます。

北関東・甲信越

茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、長野県

順位	教育機関	スコア
4	筑波大学	84.6
=39	新潟大学	74.0
=51	都留文科大学	70.8
53	信州大学	70.7
=63	長岡技術科学大学	68.9
74	茨城大学	66.8
75	宇都宮大学	66.6
=76	共愛学園前橋国際大学	66.2
91	新潟県立大学	63.5
=96	群馬大学	62.3
105	群馬県立女子大学	61.6
151-200	群馬県立県民健康科学大学	47.7-55.1
151-200	白鷲大学	47.7-55.1
151-200	茨城県立医療大学	47.7-55.1
151-200	新潟医療福祉大学	47.7-55.1
151-200	山梨大学	47.7-55.1

学生ににじみ出るその大学の教育力

前橋市立前橋高校

生徒数: 1学年約240人
合格者数: 国公立大学23人、私立大学209人(2020年度)
進路指導主任 田崎潤先生*2

県外進学希望者は減少 地元大学の教育力に期待
ランキングした私立3大学は、いずれも教育に特色があります。共愛学園前橋国際大学はここ2、3年で県内での評判が急上昇。本校からの入学者も増えており、高大連携授業で来校した際に見せる卒業生のリーダーシップやプレゼン能力は高校時代とは見違えるようです。PBLで社会人と関わる機会が多い教育がその要因の一

つでしょう。白鷲大学は小中学校の教員採用実績が向上しており、新潟医療福祉大学はスポーツ選手、救急救命士など特徴的な人材育成をしています。

大学の教育力を知る一番の方法は、学生を見ることです。オープンキャンパス等のイベントでは、学生による説明を聞く生徒は研究内容を身近に感じますし、高大連携で生徒が学生と触れ合えば、生徒自身が教育力を体感し、その大学への理解を深めます。首都圏の大学への進学は、遠隔授業なら行く意味がなく、感染症への不安もあり避ける傾向にあります。県内進学の割合は、6割から7割へと増加するでしょう。だからこそ地元大学には学生が充実した大学生活を送れるよう、一層がんばっていただきたいです。

北陸・東海

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

順位	教育機関	スコア
=10	名古屋大学	82.1
23	金沢工業大学	78.6
35	金沢大学	75.3
=39	南山大学	74.0
78	名古屋外国語大学	66.1
87	名古屋商科大学	64.5
=96	静岡大学	62.3
=98	名古屋工業大学	62.0
100	中京大学	61.9
=106	愛知大学	61.4
=106	名城大学	61.4
=109	静岡県立大学	61.0
=126	富山大学	57.7
129	豊田工業大学	57.6
132	三重大学	57.4
=136	愛知県立大学	56.5
=136	福井大学	56.5
140	岐阜大学	56.0
=141	金沢星稜大学	55.9
=141	富山県立大学	55.9
=143	中部大学	55.7
=149	豊橋技術科学大学	55.2
151-200	名古屋市立大学	47.7-55.1
151-200	椋山女子学園大学	47.7-55.1

教職員が熱心な大学は信用できる

愛知県立豊明高校

生徒数: 1学年約260人
合格者数: 国公立大学6人、私立大学248人(2020年度)
3年主任 嘉正泰先生

数値化された教育力を 大学調べに生かしたい
私は偏差値ではなく、その大学で学びたい理由を軸に大学を選ぶよう生徒に指導したり、ST比やニッチな研究室がある大学を自分で調べたりしていたので、教育力を数値化したこのランキングは非常に参考になりました。スコアを参考に教育の特色を調べれば、各大学への理解が進むでしょう。来校時、職員が卒業生の様子を

詳しく報告してくれた金沢工業大学、卒業生への講演依頼に真摯に取り組んでくれた名城大学には好印象を持っています。こうしたやり取りで、親身になってくれる教職員がいるとわかった大学は、自信を持って生徒に勧められます。学生を育てるのは、大学という入れ物ではなく、生身の教職員だからです。

生徒の傾向としては、もともと強かった地元志向に拍車がかかり、自宅から自転車で通える大学に学校推薦型選抜で入る生徒が増えています。結果、延べ合格者数が5年前の半分に減り、それを見ながら指定校推薦枠を徐々に減らしている現状があります。今後はそうした事情についても本音で話せる大学、教職員を増やせていけたら、と考えています。

*2 取材当時。2021年4月より、群馬県立沼田高校定時制課程教頭

*1 全国高等学校デザイン選手権大会

取材・文 / 編集部、見山雄介

探究学習で大学研究!

～高校生がランキングから見た志望大の課題と改革案を大学に提案

「何をめざしているのかわからない」 ——未来の志望校にズバズバ指摘

志望者が東大にももの申す!——神奈川県私立男子校である聖光学院中学校・高校の高校1年生グループは、THE世界大学ランキングのデータなどを基に東京大学が抱える課題を分析。2021年1月、代表の3人が、大学に対して改革案のプレゼンを行った。探究学習の一環としてこの企画を考えたのは、同高校の五十棲浩二教諭。「本校の生徒は例年、半数近くが東京大学を受験する。ただ、東大をめざすのが当たり前という空気に流され、深く考えずに志望する生徒も少なくない。海外大学も含めて選択肢が多様化する中で、なぜ東大を選ぶのか。ランキングを切り口に東大を相対的にとらえ、志望する理由や大学で自分が何をしたいのかを確認する機会にしたいと考え、企画した」と話す。

1人目のプレゼンター、梅村知仁さんはTHE世界大学ランキングによる東大の分野別スコアを提示し、「突出して高い分野も低い分野もない。広報されているビジョンなどを読んでも、めざす姿が見えてこない」と分析。「スタンフォード大学と言えば科学技術の社会実装」といったように、東大も明確な個性を打ち出すべきだとして、「官公庁との密接な連携」を世界にアピールしてはどうかと提案した。

2人目の飼沼隼さんは、大学ランキングは海外学生の留学先選り等に影響を持つことから、順位が下降傾向にある現状にてこの入れが必要だとの見解だ。世界版、日本版共に「国際性」が課題の一つと指摘。「英語で行う授業の比率は、国際教養大学の80.4%に対し、9.8%しかない。例えばこの率を上げれば、海外の留学希望者等に教育の魅力を知ってもらえるのでは」と述べた後、「そもそも大学から公表されて

コロナ禍によりオンラインでの開催になったが、生徒のプレゼンはスムーズに行われた



コロナ禍によりオンラインでの開催になったが、生徒のプレゼンはスムーズに行われた

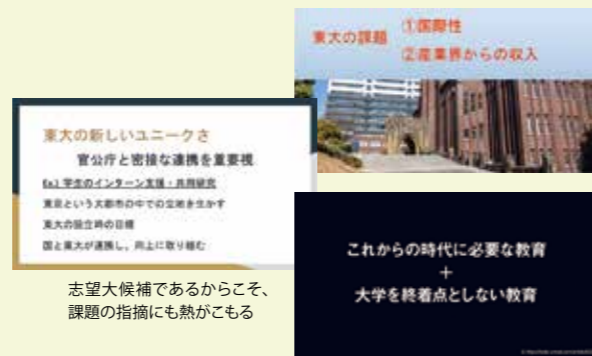


いるデータが少なく、調べづらかった」との感想も加えた。3人目、鷲見将太郎さんは、日本語による学問環境が充実している日本では「国際性」のスコアを上げるより、「日本への貢献度トップの大学」をめざすべきと主張。国内の優秀な受験生を確保するための施策として、総合型選抜と飛び級制度の積極的な活用を挙げた。

高校生から「めざしたい」と思われるために 魅力づくりとその発信は怠れない

3人の発表に共通していたのは、「東大の魅力が国内外に十分に伝わっていない」という見方。東大の戦略や活動を社会に示す「統合報告書」*の作成担当者、青木志帆IRデータ課長は、「指摘はその通り。最新の報告書はまさに、東大は誰に向けて何をアピールすべきか、という課題意識に基づいて作成した」と話した。有馬孝尚総長特任補佐(IR担当)は「国際化や特色化は、学内でも議論が盛んな部分。国内の高校生には入試問題を通じて東大の考え方を伝えてきたつもりだが、こちらから伝えるだけでなく、それらの論点について高校生の声も聴きたいと思わせてくれた」とコメントした。

最後に、生徒からは、「東大をめざすことが当たり前な風潮に疑問を持っていたが、調べた結果、あらためて行きたいと思った」「1年間調べて研究や学生のすばらしさを実感。高校生向けにもっと情報発信を」などの声があがった。高校生から主体的に選ばれる大学になるには、彼らの関心に応える情報を提供し続ける必要があると。



*東大の「統合報告書」 <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-relations/IRIR.html>

う先人観がありました。このように学生から評価されているのであれば、何らかの教育改革がなされているでしょう。今の生徒は寄り添うアプローチが重要なので、それがわかれば安心して生徒を預けることができます。入試や出前授業といった「イベント」を通じた高大連携はその場限りのものであるため、そこで触れた学問を自分ごととして深めていくのは、多くの生徒にとって難しいことです。一方、日頃の授業や探究学習の中での連携は、高校での学びとの連続性があるため、生徒が学問や進路を深掘りするきっかけになりやすいと感じます。前年度に行った地域活性化に関する探究学習には、関東学院大学の先生が初対面にもかかわらず、快く参加してくれました。最近では東京都立大学の入試担当職員とも、探究学習をはじめとする教育談義を交わしています。また地元の開元学院大学、神奈川県立大学には、生徒が図書館を利用させてもらう協力も受け付けています。このように、高校と大学の学びが「日常」の中でつながるのが一つの理想形です。オンラインの隆盛により、こうした交流の敷居が下がることを期待しています。

偏差値ではわからない、その大学が4年間の学びに向き合える場所かどうかを判断する一つの基準として、意味があるランキングだと思えます。特に学生調査結果が反映された「教育充実度」は、学生の期待の実現度を表していると言えます。昨今の学生が期待しているであろう、学修サポート、アクティブ・ラーニングなどにしつ

学生がメンターとなる 交流を望みたい

千葉県立小金高校
生徒数：1学年約320人
合格者数：国公立大学55人、
私立大学1374人(2020年度)
総合学科部 **樫仁三千先生**

学生の期待に応える 努力の証

上位大の中では東洋大学は学部数も多く、学生の「学びたい」を実現できる機会、環境がある大学という印象です。一方地元の千葉工業大学は、ロボットや宇宙に強いといった特色が際立っています。芝浦工業大学のように、「国際系」の大学・学部ではないのに「国際性」スコアが高い大学にも注目しています。コロナ禍によりオンライン上の交流が活性化している現在は、国内にいながら国際化が図れるチャンスでしょう。生徒、学生が自身の生き方を主体的に考えられるようになるためには、学びをベースとした高大接

数も多く、学生の「学びたい」を実現できる機会、環境がある大学という印象です。一方地元の千葉工業大学は、ロボットや宇宙に強いといった特色が際立っています。芝浦工業大学のように、「国際系」の大学・学部ではないのに「国際性」スコアが高い大学にも注目しています。コロナ禍によりオンライン上の交流が活性化している現在は、国内にいながら国際化が図れるチャンスでしょう。生徒、学生が自身の生き方を主体的に考えられるようになるためには、学びをベースとした高大接

かり取り組む大学が評価されているのではないのでしょうか。特に、いわゆる「有名大」ではないのにスコアが高い大学には教育への努力を感じます。

生徒には常に、「大学での学びが人生にどう関わるかを考えよ」と話しています。大学には、それを語れるような学生を育ててもらいたいと思います。

生徒には常に、「大学での学びが人生にどう関わるかを考えよ」と話しています。大学には、それを語れるような学生を育ててもらいたいと思います。

統が重要だと感じています。高校として強く望むのは、ソフト面での連携です。設備や器具を借りるハード面での連携はしやすいのですが、ソフト面の連携、つまり学生と生徒が交流する連携は、学生への信頼度が高い大学しか引き受けてくれません。生徒にとつてのロールモデルとして、またメンターとして、探究活動に参加したり、学生生活や進路についての話し相手になったりするような接続が理想です。ランク外ですが、産業界率大学は高校や企業との交流を前提とした教育を行っており、前任校ではお世話になっていました。

統が重要だと感じています。高校として強く望むのは、ソフト面での連携です。設備や器具を借りるハード面での連携はしやすいのですが、ソフト面の連携、つまり学生と生徒が交流する連携は、学生への信頼度が高い大学しか引き受けてくれません。生徒にとつてのロールモデルとして、またメンターとして、探究活動に参加したり、学生生活や進路についての話し相手になったりするような接続が理想です。ランク外ですが、産業界率大学は高校や企業との交流を前提とした教育を行っており、前任校ではお世話になっていました。

「イベント」ではなく 「日常」の高大連携を

私立三浦学苑高校(神奈川県)
生徒数：1学年約440人
合格者数：国公立大学6人、
私立大学347人(2020年度)
教頭 **野櫻慎二先生**

主体性、自律性を 鍛える大学を探せる

学生が主体性、自律性を発揮できる大学ほど、「教育充実度」は高くなると思います。難関大学には最初からそうした資質を備えた学生が集まりますが、そうではないのに名前が挙がっている大学は、それらの資質を鍛える教育が行われているのでしょうか。例えば東洋大学は大規模大学なので個々の学生のケアは難しいだろうとい

首都圏 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県		
順位	教育機関	スコア
2	国際基督教大学	91.3
5	東京工業大学	83.9
6	東京外国語大学	83.2
9	津田塾大学	82.3
=10	上智大学	82.1
12	東京理科大学	82.0
13	神田外国語大学	81.9
15	明治大学	81.6
16	東京大学	80.9
21	立教大学	79.5
22	お茶の水女子大学	79.2
24	一橋大学	78.3
25	早稲田大学	78.2
=27	中央大学	77.7
=27	東洋大学	77.7
29	青山学院大学	77.5
=31	千葉大学	77.0
33	慶應義塾大学	76.6
34	芝浦工業大学	76.1
42	法政大学	73.3
44	横浜国立大学	72.7
=47	武蔵大学	71.7
50	横浜国立大学	71.1
=54	獨協大学	70.4
56	昭和女子大学	70.3
57	東京農工大学	70.2
=61	東京海洋大学	69.0
65	千葉工業大学	68.8
66	桜美林大学	68.7
=70	学習院大学	67.9
=70	日本大学	67.9
72	東京都市大学	67.7
79	明治学院大学	65.9
80	帝京大学	65.6
84	成蹊大学	65.1
88	電気通信大学	64.1
89	東京農業大学	64.0
92	東京女子大学	63.4
93	神奈川大学	62.6
=98	埼玉大学	62.0
=109	東海大学	61.0
113	専修大学	60.4
=117	東京電機大学	59.5
125	麗澤大学	57.8
=126	東京医科歯科大学	57.7
=130	東京国際大学	57.5
134	聖路加国際大学	56.9
135	埼玉県立大学	56.6
138	駒澤大学	56.4
139	北里大学	56.2
=141	順天堂大学	55.9
=143	創価大学	55.7
151-200	亜細亜大学	47.7-55.1
151-200	大東文化大学	47.7-55.1
151-200	日本女子大学	47.7-55.1
151-200	東京慈恵会医科大学	47.7-55.1
151-200	城西国際大学	47.7-55.1
151-200	神奈川工科大学	47.7-55.1
151-200	関東学院大学	47.7-55.1
151-200	恵泉女学園大学	47.7-55.1
151-200	工学院大学	47.7-55.1
151-200	明海大学	47.7-55.1
151-200	武蔵野大学	47.7-55.1
151-200	二松学舎大学	47.7-55.1
151-200	成城大学	47.7-55.1
151-200	拓殖大学	47.7-55.1
151-200	多摩美術大学	47.7-55.1
151-200	玉川大学	47.7-55.1
151-200	帝京平成大学	47.7-55.1
151-200	東京都市大学	47.7-55.1

近畿

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

順位	教育機関	スコア
17	大阪大学	80.8
19	立命館大学	80.1
26	神戸大学	77.9
30	京都大学	77.2
=31	同志社大学	77.0
36	近畿大学	75.2
41	関西学院大学	73.9
=47	神戸市外国語大学	71.7
59	関西大学	69.6
=61	関西外国語大学	69.0
67	京都産業大学	68.4
68	龍谷大学	68.3
=76	京都工芸繊維大学	66.2
=96	京都女子大学	62.3
=101	同志社女子大学	61.8
108	大阪市立大学	61.2
115	甲南大学	60.1
=117	京都外国語大学	59.5
122	兵庫県立大学	58.4
124	神戸女学院大学	58.2
=130	武庫川女子大学	57.5
133	大阪府立大学	57.0
147	滋賀大学	55.6
151-200	佛教大学	47.7-55.1
151-200	関西国際大学	47.7-55.1
151-200	神戸学院大学	47.7-55.1
151-200	京都先端科学大学	47.7-55.1
151-200	京都府立大学	47.7-55.1
151-200	京都橋大学	47.7-55.1
151-200	奈良女子大学	47.7-55.1
151-200	大阪経済法科大学	47.7-55.1
151-200	大阪女学院大学	47.7-55.1
151-200	大阪工業大学	47.7-55.1
151-200	和歌山大学	47.7-55.1

学生に活躍の場を提供する大学に注目

京都市立京都工学院高校

生徒数…1学年約240人
合格者数…国公立大学20人、私立大学218人(2020年度)
進路指導主事 有本淳一先生

工業高校の視点で注目した私立4大学

工業高校である本校が注目した大学はまず、京都先端科学大学。専門教育を英語で行うと同時に、英語が苦手な学生を手厚く支援しています。龍谷大学や京都橋大学は、学生の教育ニーズをふまえて学部の改組や拡張を行っている印象です。また大阪工業大学は、理系の総合大学として存在感があります。

生徒にもこうした大学の特色を知ってもらいたいのですが、コロナ禍によりオープンキャンパスが中止され、大学研究が進んでいません。そこで、Webサイトや大学案内などで大学を調べるワークシートを用意して、生徒の視野を広げる指導を考えています。

私は平日頃から生徒に対して、学会などで学生が発表したり、主体的に学生が活動するPBLを実施したりするなど、学生に活躍の場を提供している「学生を輝かせてくれる大学」を選ぶようにと話しています。以前、関西大学の職員と縁があり、同大学で学生が活躍する様子を講演してもらったところ、同大学への出願が増えました。自分が大学でどう活躍できるかは、生徒の志望に大きな影響を与える情報です。

もっと知りたい学生の成長プロセス

大阪府立牧野高校

生徒数…1学年約280人
合格者数…国公立大学25人、私立大学993人(2019年度)
校長 日笠賢先生

入試・教育の変化により大学への期待も変わる

2021年度入試の結果を受けて、高校が求める大学の情報が変化すると考えています。2020年度入試までは、入学定員管理厳格化等の影響を受けた厳しい入試が続き、生徒も教員も「合格」以外のことを考える余裕があまりありませんでした。しかし2021年度入試では、関関同立の現役合格者数が前年度の1.7倍の197人になるなど、一般選抜でがんばれば志望大学に合格できる状況になったという感触があります。このタイミングで生徒には、大学を卒業した先のことをもっと考えさせたいと思います。本年度の3年生以降は入学時から探究学習に取り組んできた学年です。探究学習では大学卒業後の自分をイメージし考える指導を行っています。そのため、今後は社会で実現したいことを基に大学を選ぶ傾向が強まるでしょう。

生徒の進路意識の変化をふまえて大学に期待したいことの一つは、学生の成長プロセスの情報提供です。学生が何をめざし、どんな経験をして、いかなる力を得たかという、生徒のロールモデルとなる情報です。毎年、大学訪問などでお世話になる同志社大学や関西大学には、本校の卒業生の成長プロセスを確認してみたいですね。もう一つは、双方向の連携強化。高校生と大学生が互いの学校を行き来する交流は、生徒に大学での学びを具体的にイメージさせる効果があります。毎年外国人留学生を本校に派遣してもらっていた関西外国語大学に生徒を派遣する計画をコロナ禍で前年度は断念しましたが、今後も双方向の交流の実現を探りたいと考えています。

中国・四国

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

順位	教育機関	スコア
18	広島大学	80.2
45	岡山大学	72.5
58	高知工科大学	70.0
=63	山口大学	68.9
85	鳥取大学	65.0
=119	愛媛大学	59.1
=119	島根大学	59.1
=143	ノートルダム清心女子大学	55.7
151-200	広島修道大学	47.7-55.1
151-200	広島工業大学	47.7-55.1
151-200	香川大学	47.7-55.1
151-200	高知大学	47.7-55.1
151-200	県立広島大学	47.7-55.1
151-200	下関市立大学	47.7-55.1
151-200	徳島大学	47.7-55.1
151-200	山口県立大学	47.7-55.1

卒業生の成長から教育力が推し量れる

岡山県立岡山城東高校

生徒数…1学年約320人
合格者数…国公立大学248人、私立大学675人(2020年度)
進路指導課長 横山生久子先生

高校で培うべき力を共に考え連携したい

エリアトップの広島大学は情報科学部の設置にみられるような先進的な教育や、世界に開かれた教育、伝統を大切にする教育を実践しており、それが高い評価につながっていると思います。岡山大学は、伝統ある医学部を始め、バランスのとれた総合大学として魅力的です。引き続き、岡山県の教育活動への支援を期待しています。

高知工科大学は、卒業生から設備や就職支援が充実していると聞きました。ノートルダム清心女子大学は教育実習に来る卒業生の様子から、授業等を通して礼儀や学びの姿勢を身に付けたことがわかります。

大学からの情報提供は、直接会って話を聞くと特色をより深く理解できます。さらに、大学のアドミッション・ポリシー(A.P.)と各学部のA.P.との関わりを明確に示していただくと、学部の特徴もよくわかると思います。

これからの教育では、変動する時代に流されない人間力の育成が大事だと考えています。そのため、高校、大学それぞれの段階で学ぶべきことや、培うべき力について共に考え、連携して教育の充実を図りたいと願っています。

九州・沖縄

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

順位	教育機関	スコア
3	立命館アジア太平洋大学	86.4
14	九州大学	81.8
37	九州工業大学	74.9
43	福岡女子大学	73.2
49	西南学院大学	71.6
=51	北九州市立大学	70.8
=54	熊本大学	70.4
69	長崎大学	68.2
=81	福岡工業大学	65.5
83	佐賀大学	65.2
=94	九州産業大学	62.4
=94	名桜大学	62.4
=101	福岡大学	61.8
=101	宮崎国際大学	61.8
111	崇城大学	60.6
116	鹿児島大学	59.7
=126	中村学園大学	57.7
148	琉球大学	55.4
151-200	久留米大学	47.7-55.1
151-200	長崎県立大学	47.7-55.1
151-200	大分大学	47.7-55.1
151-200	熊本県立大学	47.7-55.1

人間性を育む丁寧な教育に注目

熊本県立熊本西高校

生徒数…1学年約360人
合格者数…国公立大学28人、私立大学198人(2020年度)
進路指導主事 森山幹俊先生

教育に真摯な大学は高大連携にも積極的

偏差値の高い大学は理解力のある学生が多いので教員も懸命に指導する——このサイクルにより教育充実度のスコアも高いのだと思います。

それ以外では「丁寧な教育」を行っている大学が目立ちます。私が考える丁寧な教育とは、学生と教職員の人間的な付き合いの中で、時間をかけながら努力する習

慣と人間性を辛抱強く育てる教育です。そうした姿勢は、大人に成長した卒業生の様子や、広報担当者の真摯な対応に接するとわかります。例えば宮崎国際大学や崇城大学からは、それがうかがえます。そのほか九州工業大学、佐賀大学、九州産業大学など新しいものを積極的に取り入れ、改革に熱心な大学からは、教育に対する教職員の熱意が伝わってきます。

複雑化する社会に対応できる人材を育てるには、中高大が連携し、多様な学習機会を用意する必要があります。双方が身を乗り出し、労をいとわず取り組まなければ真の連携とは言えません。丁寧に、熱心に教育に取り組む大学とは、知育、徳育によって生徒・学生の人間の成長を促す、本質的な高大連携が期待できます。